

■状態(S)指標絞込みにおける5つの視点

- ① 市民への分かりやすさ
専門的な内容に隔たらず、一般市民にとって理解しやすい内容かという視点で評価
- ② 福岡市らしさ
和白干潟、野鳥公園等、生物多様性における福岡市内の特徴的な自然等を表現できているかという視点で評価
- ③ 算定・更新の容易さ
算定に当たって複雑な計算が必要ではないか、現実的にデータを取得することができるか、定期的な更新が可能かという視点で評価
- ④ 既往計画との整合
国の計画、福岡市の既存計画、および生物多様性ふくおか戦略に示された将来像と整合しているかという視点で評価
- ⑤ 自然環境調査の活用
これまでの自然環境調査結果を十分に活用することが出来るかという視点で評価

	状態(S)指標案	絞込みの視点					総合評価	関連計画	目標値		
		①市民への分かりやすさ	②福岡市らしさ	③算定・更新の容易さ	④既往計画との整合	⑤自然環境調査の活用			目標年	値	
福岡市の生物多様性の健全性	生態系の多様性	永続性のある樹林地の面積	1		1	1		3 新・緑の基本計画	2020	7,205ha	
		アイランドシティまちづくりエリアの緑被面積、緑被率	1	1	1	1		4 新・緑の基本計画	2020	58ha、30%	
		河川水辺等、道路の緑、永続性のある農地の面積	1		1	1		3 新・緑の基本計画	2020	2,849ha	
		都心部の緑被面積、緑被率(河川や社寺の緑などを含む値)	1		1	1		3 新・緑の基本計画	2020	103ha約11%	
		干潟の再生割合	1	1	1	1		4 生物多様性国家戦略			
		自然公園面積(国立公園、国定公園、都道府県立自然公園)	1	1	1	1		4 生物多様性国家戦略			
		自然環境保全地域等面積(原生自然環境保全地域、自然環境保全地域、都道府県自然環境保全地域)	1	1	1	1		4 生物多様性国家戦略			
		海洋保護区面積(自然公園、自然環境保全地域、鳥獣保護区、保護水面、共同漁業権区域、指定海域、沿岸水産資源開発区域等)	1	1	1	1		4 生物多様性国家戦略			
		アオサの発生面積	1	1				2-			
		(植生自然度8以上の面積) / (植生自然度7以上の面積)の割合	1		1		1	3-			
	ニホンアカガエル・ヤマアカガエル・カスミサンショウウオの産卵数(樹林と水辺の生態系ネットワーク:特定のモニタリング地域を定める)	1		1		1	3-				
	種の多様性	河川支流及び水路などの細流におけるメダカ確認地点数	1	1		1	1	4 福岡市環境基本計画	2015	68/286	
		シロウオの遡上数(東区)	1	1	1	1	1	5 環境教育・学習計画(二次)	2015	100万尾	
		今津・和白干潟におけるシギ・チドリ類の確認	1	1	1	1	1	5 博多湾環境保全計画			
		今津・和白干潟におけるクロツラヘラサギの確認	1	1		1	1	4 博多湾環境保全計画			
		藻場におけるカワハギ、マダコの確認(岩礁海域)	1	1		1	1	4 博多湾環境保全計画			
		東部海域におけるテナガダコ、イシガニの確認(浅海域)	1	1		1	1	4 博多湾環境保全計画			
		西部・中部海域の藻場におけるヒラメ、イシガニ、シヤコの確認(浅海域)	1	1		1	1	4 博多湾環境保全計画			
		シロギス、ヒメジの確認(砂浜海岸)	1	1		1	1	4 博多湾環境保全計画			
		ゲンジボタルの生息数(良好な水辺環境:特定のモニタリング地域を定める)	1		1		1	3-			
		ヒメハルゼミ(良好な照葉樹林)・ハルゼミ(良好なアカマツ林)の生息確認地点数	1		1		1	3-			
	種の危うさ	キツネ・アナグマの生息確認地点数	1		1		1	3-			
		特定外来生物、外来種ブラックリスト(仮称)の指定等種類数とそのうちの未定着種数	1			1	1	3 生物多様性国家戦略			
		外来生物法に基づく防除の確認・認定件数	1		1	1		3 生物多様性国家戦略			
		鳥獣保護区面積(国指定鳥獣保護区、都道府県指定鳥獣保護区)	1	1	1	1		4 生物多様性国家戦略			
		中大型哺乳類の分布拡大等による農林業被害や生態系の質の低下	1			1	1	3 生物多様性総合評価			
		侵略的外来種の分布の拡大	1			1	1	3 生物多様性総合評価			
		ニホンジカによる植生の被害等	1			1		2 生物多様性総合評価			
		森林病虫害による被害	1		1	1		3 生物多様性総合評価			
		カブトガニの産卵数(今津干潟を中心として)	1	1	1		1	4-			
		ガビチョウ・ソウシチョウとウグイスの生息分布面積	1		1		1	3-			
	生態系サービス	基盤サービス	森林面積	1		1	1		3 福岡市環境基本計画	2015	現状維持
			干潟面積	1	1	1	1		4-		
			自然海岸の延長	1		1			2-		
			「保安林」面積	1		1	1		3 新・緑の基本計画	2020	7,205ha
「自然再生地」の面積			1		1	1		3-			
調整サービス		環境基準(大気質)の達成率	1		1	1		3 福岡市環境基本計画	2015	環境基準の達成・維持に努める	
		環境基準(博多湾)の達成率	1		1	1		3 福岡市環境基本計画	2015	環境基準の達成・維持に努める	
		環境基準(河川水質)の達成	1		1	1		3 福岡市環境基本計画	2015	環境基準の達成・維持に努める	
		環境基準(地下水)の達成率	1		1	1		3 福岡市環境基本計画	2015	環境基準の達成・維持に努める	
		環境基準(土壌)の達成率	1		1	1		3 福岡市環境基本計画	2015	環境基準の達成・維持に努める	
		環境基準(ダイオキシン類)の達成	1		1	1		3 福岡市環境基本計画	2015	基準の達成・維持に努める	
		環境基準(有害大気汚染物質)の達成	1		1	1		3 福岡市環境基本計画	2015	基準の達成・維持に努める	
		森林による二酸化炭素吸収量	1			1		2 新・緑の基本計画	2020	約57,240ton-CO2/年	
		水源かん養林によるCO2吸収	1			1		2 福岡市水道長期ビジョン	2018	5,450t-CO2/年	
		都心部における二酸化窒素濃度(天神測定局(自排局))	1			1		2 福岡市自動車交通公害防止計画(第三次)	2010	0.06ppm以下	
		公共公益施設の緑の面積	1			1		2 新・緑の基本計画	2020	557ha、被率21.0%	
		民有地の緑の面積	1			1		2 新・緑の基本計画	2020	1,514ha、緑被率16.2%	
		間伐及び造林面積(水源かん養林の整備)	1		1	1		3 福岡市水道中期経営計画	2012	間伐50ha 造林面積1.5ha	
		自然共生型ため池の整備	1		1	1		3 農林業・水産業総合計画	2016	7箇所	
		荒廃林新整備面積	1			1		2 農林業・水産業総合計画	2016	1,346ha	
		長期育成循環施業面積	1	1		1		3 福岡県環境総合基本計	2012	500ha/年	
		「猛暑日」の日数(「熱帯夜」の日数)	1			1		2-			
		「洪水」の数(床下・床上浸水家屋数)	1			1		2-			
		「土砂災害」の数(土砂崩れ、土石流等)	1			1		2-			
		樹林による二酸化炭素吸収量(固定量)の算定	1		1			2-			

	状態(S)指標案	絞込みの視点					総合評価	関連計画	目標値	
		①市民への分かりやすさ	②福岡市らしさ	③算定・更新の容易さ	④既往計画との整合	⑤自然環境調査の活用			目標年	値
供給サービス	農地面積(農業振興地域の農用地区域内)	1		1	1		3	福岡市環境基本計画	2015	現状維持
	農業総生産額	1		1	1		3	農林業・水産業総合計画	2016	10,939百万円
	新規就業者数(農業)	1		1	1		3	農林業・水産業総合計画	2016	8人/年度
	耕作放棄地解消面積	1		1	1		3	農林業・水産業総合計画	2016	326ha
	エコファーマー累積新規認定件数	1		1	1		3	生物多様性国家戦略		
	農林漁業従事者数	1		1	1		3	-		
	自然エネルギー導入量	1					1	-		
	有用魚種の漁獲高(シロウオ等)	1		1	1	1	4	-		
	干潟における貝類の漁獲高				1		1	-		
	学校給食への市内産農作物利用割合	1			1		2	農林業・水産業総合計画	2016	米20%、野菜15%
文化的サービス	油山市民の森の利用者数	1	1	1	1		4	環境教育・学習計画(二次)	2015	250,000人
	「伝統的祭り」の実施数	1	1				2	-		
	「伝統的行事」の実施数	1	1				2	-		
	野鳥公園、自然公園等の利用者数	1	1	1			3	-		